



京都府

学校法人ヴィアートル学園 洛星中学校 洛星高等学校



7月7日水曜日、漢検協会理事長 山崎信夫が学校法人ヴィアートル学園 洛星中学校・高等学校を訪問し、「日本漢字能力検定協会賞」の授与を行いました。期末試験終了後でしたので、残念ながら生徒の皆さんには直接お会いできませんでしたが、当日の様子は後日、保護者通信を通じて生徒・保護者の皆様にお知らせくださいました。



チャペルならびにロビーにて。校長先生に賞状と楯をお受け取りいただきました。





本学園は、「キリスト教カトリック精神に基づく “ 全人教育 ”」を使命とし、生徒たちが授業、クラブ活動、学校行事、宗教行事などを通じて、心、頭、体のバランスの取れた人間へと成長する教育活動に取り組んでいます。

漢字検定は、本校教育活動を支える言語能力、特に語彙習得の取り組みの一環として実施しております。漢字検定に向けた学習は、系統立てられた漢字の習得、語意や熟語の理解など、文章読解には欠かせない知識を吸収できるだけではなく、漢字の魅力そのものにも触れることができる良い機会だと考えております。

漢字検定の学習で重視しているのは、漢字の深い習得です。学習したすべての漢字を完全に習得し使いこなせることを全員で目指し、不十分な知識は反復して学習するよう心がけております。このような個々の小さな努力の積み重ねの結果が、学校全体としてこのような栄えある賞の受賞につながったのではないかと、嬉しく感じています。

複雑さが増す現代において、子どもたちが他者の痛みに気付き、学ぶ楽しさを知り、時に苦難に耐えながらも、社会に貢献することでより豊かな人生を歩むその土台には、確かな日本語の習得が欠かせません。そのためにも、これからも漢字検定への取り組みを通じて学習活動を進めたいと考えております。

学校ホームページは[こちら](#)

